



2007年7月17日

投資信託銘柄追加のお知らせ

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、7月17日（火）受注分より、投資信託2銘柄を追加いたします。今回の追加により、当社取扱い銘柄数は108銘柄となります。

日本では、依然低い金利水準が続いており、他の主要国との金利差が注目されております。その金利差を活用し、いったん主要国の外貨に投資し、その外貨を元に円を借り入れて日本株に投資する「GS日本株プラス(通貨分散コース)」、財務諸表では計れない「経営者」を投資判断の中心においた「アクサ IM 世界の創業者ファンド(1年決算型)」の2銘柄の取扱いを開始いたします。

当社では、投資信託取扱銘柄数の100本突破記念として、「投資信託取扱銘柄数100本突破記念キャンペーン」()を実施しております。なお、当該2銘柄も、本キャンペーンの対象銘柄となります。

本キャンペーンでは、7月2日（月）～8月31日（金）15：00お申込分までに当社指定の投資信託を累計で30万円以上お買付（約定）いただいたお客様の中から抽選で500名様に楽天証券ポイント10,000ポイントをプレゼントいたします。

今回追加する投資信託の特徴について

ファンド名	GS 日本株・プラス(通貨分散コース)	アクサ IM 世界の創業者ファンド(1年決算型) (愛称:タレント・グローバル)
設定・運用会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問
ファンドの特色	国内株式市場への投資により、独自開発の計量モデルを用い、長期的に TOPIX を上回る運用成果を目指します。同時に、通貨・金利取引を活用して複数の主要通貨への分散投資を行うことにより、内外短期金利差に相当する収益の獲得も目指します。	投資対象は、世界各国の創業者またはそのファミリーが大株主、かつ創業者自らが経営権を持つ企業です。その中から才能あふれる人物が経営する企業を発掘し、投資を行います。